

# ウッドエイド ライト

WOOD-AID

塗装マニュアル

Ver.1.0



## まえがき

このたびはウッドエイド ライトをご利用いただき誠にありがとうございます。

ウッドエイド ライトはこれまでにない木材用シリコンゴム系の撥水剤です。  
本書はウッドエイド ライトの塗装や塗り替え時の素地調整について記載しています。  
きれいな仕上がりが得られ、十分に性能が発揮できるようマニュアルに従って塗装してください。

ご使用される前に必ず最後までご一読下さい。

### ●製品仕様

商品名：ウッドエイド ライト

品 名：合成樹脂塗料（水系）

色 名：透明（外観：乳白色）

成 分：シリコン樹脂、水、シリカ、エチルアルコール

塗り面積：33～67㎡/4kg、133～267㎡/16kg

### ●用途

ログハウス、雨戸、羽目板、板壁などの未塗装木部

ラティス、トレリス、プランターなど未塗装のガーデン用木製品

※ウッドデッキなど頻繁に歩行する床面には適しません。

※ウッドエイドは撥水機能にのみ特化したもので、太陽光などの紫外線遮蔽や防虫・防腐・防カビなどの機能は有しておりません。

## 1. 素地調整

### (A) 汚れのない無塗装面

ゴミ、ホコリなどがあれば、布などで塗装面上をきれいに清掃します。

### (B) ヤニの発生する無塗装面

固まったヤニは、ヘラなどで取り除きます。柔らかいヤニはアルコールや塗料用シンナーで拭き取ります。

ヤニの多い木材で脱脂乾燥していない場合、数年間にわたってヤニが滲出し、塵埃によってウッドエイド ライト塗装面を汚染することがあります。

### (C) カビ、シミの発生する無塗装面

金属以外のブラシやタワシを用いて清水洗いします。(金属ブラシは鉄汚染等の原因となります)

カビ、シミなどの汚れは、市販されている木材用のカビ取り剤、漂白剤、アク抜き剤などで取り除きます。使用方法は、商品の取扱説明書に従って下さい。保護具の着用も忘れないで下さい。

汚れを取り除いた後は十分に水洗いを行って下さい。(ウッドエイド ライトの仕上がりに悪影響を及ぼします)

また、水洗後は木材を十分乾燥させます。(乾燥が不十分だと仕上がりが悪くなり、塗膜劣化の原因にもなります)

### (D) その他の汚れがある無塗装面

セメント系のカスや接着剤は、変色や吸い込みむらの原因になります。研磨またはヘラでできるだけ取り除きます。

油分、手垢などは有機溶剤や中性洗剤で拭き取ります。拭き取り後は十分な水洗いと乾燥が必要です。

### (E) ウッドエイド ライトの塗装面

サンドペーパー、ブラシ(金属製は不可)、布などを用いて塗装上のゴミ、ホコリなどを除去、清掃します。中性洗剤を使用した場合は十分な水洗いと乾燥が必要です。

塗装面の劣化が著しく、材の下地が露出している場合は、前記(C)に準じて素地調整をします。

(F) ウッドエイド ライト以外の塗料塗装面

先ずは水を掛けて撥水性を調べます。

- 撥水性が無い場合（水がすぐに染み込む場合）は前記（C）に準じて下さい。
- 撥水性が残る場合（水が玉状に残る場合、水の染み込みが遅い場合）、前記（E）に準じて下さい。
- 撥水性の有無に関わらず、旧塗膜を完全に除去する場合は、除去後、前記（C）に準じて素地調整しウッドエイド ライトを塗装して下さい。

※他の塗膜上に塗装された場合は、性能が十分発揮されない場合があります。

※塗替え材の場合、細かいワレが無数にあったり、劣化状態が部分的に異なる場合がありますが、この状態では吸い込みムラを生じることがあります。

2. ウッドエイド ライト標準塗装

素地調整を終えたら、次の表に従ってウッドエイド ライトを塗装して下さい。なお、塗装前には必ず試し塗りをして下さい。

塗装する木材	針葉樹材	広葉樹材
標準塗装	1～2回	
塗り重ね乾燥時間	30分～1時間	
木材含水率	18%以下	15%以下
標準使用量	0.06～0.12kg/m <sup>2</sup>	
塗装方法	刷毛塗り、浸漬	
再塗装（重要）	ウッドエイド ライトまたは他の撥水性塗料塗装面上に、ウッドエイド ライトを塗装する場合はウッドエイド ライトの全体量に対して、別売りのWA-P（※）を0.1%添加してから塗装してください。（添加後はよく攪拌してください）	

※塗り重ね乾燥時間を過ぎると、塗り難くなるため十分に注意してください。

※WA-Pは塗れ性向上剤です。

※ウッドエイド ライトは完全防水ではないため、長時間水に浸される環境下では水が浸み込んでいきますが、晴れた後乾燥し、また撥水します。

※ウッドエイド ライトは撥水機能にのみ特化したもので、防カビ希望は有してありますが、紫外線遮蔽や防虫・防腐などの機能は付与しておりません。それらの機能が必要な場合は同シリーズ製品である、「ウッドエイド カラーA」のご使用をおすすめします。

### 3. メンテナンスの時期

次のような状態になったときに、局部または全部の塗替えを行って下さい。

- 汚れが著しくなったとき。
- ワレやヒビなどの発生により撥水性が失われたとき。
- 撥水性が低下したとき。（水をかけたときに水玉ができなくなったとき）

### 4. 塗装方法

①塗る面のゴミ・ホコリ・泥・カビ・苔・藻などを十分に取り除きます。汚れがひどく落としにくい場合はデッキブラシなどで水洗いし、よく乾かします。

※他の塗料が塗装されている場合は塗れません。旧塗膜を十分に取り除いてから塗装してください。

②ヤニの多い箇所はあらかじめラッカーうすめ液でヤニをふきとっておきます。

③目の粗い木はサンドペーパー（＃180～＃240）を軽くかけてから塗装します。

④本品が付着して困るところは、あらかじめマスキングテープなどで覆っておきます。

※床にこぼれると滑りやすくなりますのでしっかりと養生してください。

⑤ふたを開ける前に容器を逆さにしてよく振り動かして塗料を均一にし、必要量を口の広い容器に移します。

※使用中もときどきかき混ぜてください。

⑥薄めずに塗装してください。広い平面の場合はコテバケを使用すると早くきれいに塗ることが出来ます。

※十分な性能を発揮させるには塗布量と浸透が重要です。特に1回目の塗装時は、下地に吸い込ませるようにたっぷりと塗ってください。

※塗り過ぎには十分に注意してください。乾燥遅延やべた付きなどの支障がでる場合があります。

※初期の撥水が弱い場合がありますが、時間とともに本来の性能を発揮していきます。

⑦塗り重ねる場合は、乾燥する前に塗り重ねます。マスキングテープは塗料が手につかなくなったら剥がします。

※塗り重ね乾燥時間を過ぎると、塗り難くなるため十分に注意してください。

※乾燥後にウッドエイドを塗り重ねる場合は、希釈したウッドエイドの全体量に対して、別売りのWA-Pを0.1%添加してから塗装してください。（添加後はよく攪拌してください）

#### 4. ウッドエイド ライトを長持ちさせるためのポイント

ウッドエイド ライトを長持ちさせるためには、標準塗装仕様を必ずお守りください。  
不適切な塗装は、ウッドエイド ライトの性能を著しく劣化させます。とくに、木材含水率管理、塗布量管理は大切な項目です。

##### ①木材含水率について

乾燥した木材に塗装してください。(針葉樹18%以下、広葉樹15%以下)

また、雨や雪のあとは乾燥を確かめてから塗装してください。市販の木材用の含水率計を利用すると、簡単に木材含水率を測定することができます。

含水率が高いと、

- ウッドエイド ライトの木材への浸透が妨げられ、十分な撥水効果が得られません。
- 乾燥に伴い、深いワレが生じると、その部分から腐朽菌の侵入により腐れが生じます。
- ウッドエイド ライトの木材への付着量が不足します。

※ウッドエイド ライトは溶剤系塗料と違い、生木への塗装は可能ですがその場合は5倍希釈を推奨致します。

##### ②塗布量について

仕様に従い、次のように塗装してください。

針葉樹材、広葉樹材：1～2回

※吸い込みの悪い材は、塗装回数を増やしてください。

※重ね塗りする場合は前塗装が乾ききる前に塗装して下さい。

※塗り過ぎには十分注意してください。

##### ③混合・希釈について

ウッドエイド ライトどうしを混合はできますが、希釈には必ず水を使用して下さい。他の塗料やシンナーなどでは絶対に薄めないでください。ウッドエイド ライトの性能が低下するだけでなく、全く損なわれてしまう可能性があります。

##### ④再塗装について

ウッドエイド ライトの塗装面に再塗装する場合は、必ずWA-Pをご使用いただき、添加量は必ず厳守して下さい。再塗装後初期は撥水性能が低下しますが、経過とともに撥水性能が戻ります。

## 5. 注意事項

- 表示の用途以外に使用しないでください。また、塗装方法記載注意事項もよく読んでから使用してください。
- 食器など直接食べ物が触れるところやテーブルなど長時間皮膚が触れるところには塗らないでください。
- 病人、妊婦、乳幼児、薬剤によってアレルギー症状やかぶれ等をおこしやすい方、特異体質の方がいる場所では取り扱わないでください。
- 犬小屋や鳥カゴ、その他ペットなどが舐めたり、かじったりするような木部には塗らないでください。
- 塗料が金魚や鯉などの魚類がいる池に入らないよう、また、草木などの植物にかからないよう注意してください。
- 塗料が河川、池、下水道に入らないよう注意してください。
- 塗料がすでに塗られている面や化粧合版には塗れません。
- 塗料がついても支障がない服装で作業をしてください。
- 塗装中、乾燥中とも換気をよくしてください。
- 素地調整は十分に行ってください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。部分的に湿っていると色むらになることがあります。
- 塗布量が少ないと耐候性など十分な性能が発揮できないので標準塗り面積を目安に塗装してください。
- 塗装後は6時間以上水がかからないように養生してください。
- 塗装時及び乾燥するまでの間、降雨が予想される場合や、気温5℃以下または湿度85%以上になることが予想される場合は塗らないでください。
- 下地の吸い込みの度合いによって仕上がり状態や、乾燥性が大きく左右されますので、予め目立たない部分で必ず試し塗りをして、浸透性・下地への影響を確かめてから塗装してください。
- 木肌が滑らかでも1回目の塗装が十分乾燥した後、塗装表面にザラツキが生じた場合はサンドペーパー（#320程度）を軽く当ててから2回目を塗ると滑らかに仕上がります。
- 塗り面積・乾燥時間・などは、素材・塗り方・気象条件等により多少異なります。
- 塗装後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 容器は塗料を使い切ってから捨ててください。
- やむを得ず塗料を捨てる時は、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分してください。
- 床面に塗った場合、雨などで濡れているときや靴下のまま歩いたり、履き物の種類によっては歩行の際に滑りやすくなりますので十分に注意してください。
- 塗装したウッドデッキなどの床面と屋内を靴下で頻繁に出入りすると、屋内床面にシリコン成分が移行し、滑りやすくなってしまいますので、塗装後の床面は専用の履物を使用してください。

## 6. 用具の手入れ方法

使用した用具は乾かないうちに、新聞紙かボロ布でできるだけ塗料を拭き取り、水か湯で洗ってください。

## 7. 保管方法

- 直射日光を避け、施錠して保管すること。
- -5℃以下の場所を避けて保管すること。
- 残った塗料は、必ずフタをし、幼児の手の届かないところに保管し、子供が誤食・誤飲・いたずらをしないよう注意してください。

## 8. 救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに口をすすぎ、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けてください。

## 9. 危険表示



- 遺伝性疾患のおそれ

## 10. 保管方法

- 直射日光を避け涼しく乾燥した場所に貯蔵、施錠して保管すること。
- 凝固するのを避けるため0℃以下で保管しないでください。
- 残った塗料は、必ずフタをし、幼児の手の届かないところに保管し、子供が誤食・誤飲・いたずらをしないよう注意してください。

最後までご一読いただき誠にありがとうございました。